平成２７年度　部局長マネジメント方針

はやし　のぶお
建設局長　林　伸生

私の決意

昨年、８月に発生した広島県の土砂災害は、７４名もの尊い命が無くなるなど甚大な被害が生じました。また大阪府下でも９月には池田市に１００㎜を超す大雨が降っており、昨今のゲリラ豪雨は地球温暖化などの環境変化により、規模も頻度も過去の比ではありません。
あわせて、近い将来必ず起こると言われている、南海、東南海大地震など、多種多様の自然災害はいつ発生するか分からず、その緊急時には迅速に対応していかなければなりません。
建設局では、もしもに備え「危機や災害への備えが万全なまち」を目指して、道路、橋梁をはじめとするインフラ（都市基盤）の整備や維持補修、また学校の耐震化などを行っています。
私は、本年４月に建設局長を拝命しましたが、建設局職員一丸となって想定外を想定して災害に備え、市民の皆様の安全安心を守れるよう努めてまいる所存でございます。
次に、「住みよいまちづくり」としては、魅力あふれる「東大阪市らしい景観」をつくるための取り組みや近鉄奈良線の全線高架化に伴う関連側道の整備、大阪瓢箪山線の早期完成、未認可区間の早期事業化などの市政運営方針で掲げられている施策については当然のこととして、大阪モノレールの南伸に伴う基盤整備やラクビーワールドカップ２０１９花園開催に向けた施設整備に万全を期すことにより、人口減の抑制をはかって活気あるまちづくりに努めてまいります。

最後になりますが、建設局職員１人ひとりが自己啓発や意識改革を行い、知識や技術の習得はいうまでもなく、職員としての基本的な行動、マナーについても再点検し、市民の皆様からさらなる信頼を受ける職員となるよう努めてまいります。